

令和4年10月11日

報道関係者 各位

**雲仙普賢岳噴火災害から30年を経て古川市長が
基調報告を行います。**

標記の件について、下記のとおり開催されますので、お知らせします。

記

1. 会議名 第11回自治体災害対策全国会議
2. 期 日 10月26日(水)～27日(木)
3. 場 所 島原文化会館
4. 参加者 自治体職員、一般の方など200名
5. 趣 旨 火山災害をはじめとする自然災害による被害の軽減に向けて、自主防災組織の活性化や地区防災計画の作成など、地域と行政が連携した事前減災の効果的な取り組みについて考えることを目的として開催される。
6. 詳 細 別添チラシを参照

※昨年、噴火災害から30年で開催の予定であったが、コロナ禍のため延期となり、今年度、開催します。

有明海にひらく湧水あふれる 火山と歴史の田園都市 島原



担当：島原市市民部市民安全課 災害対策班
担当 島田
電話：0957-63-1111（内線241）
E-mail：anzen@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん

「雲仙普賢岳噴火災害30年を経て ～地域社会における災害への備え」

阪神・淡路大震災以後、世界各地で様々な大災害が多発する時代を迎えています。大災害は、その都度異なる形で襲ってくることから、これに的確に対応できるよう、全国の自治体職員が、自治体の災害応急対策や復旧・復興への取組などを情報共有しつつ、今後予想される様々な災害への備えについて考える「自治体災害対策全国会議」を開催します。

長期にわたる火砕流や土石流により地域社会に大きな影響をもたらした雲仙普賢岳噴火災害から31年目を迎えるなか、全国各地で災害が頻発し、新型コロナウイルス感染症による複合災害への備えも必要になるなど、地域防災力を高めることがますます重要になっています。このため、火山災害をはじめとする自然災害による被害の軽減に向けて、自主防災組織の活性化や地区防災計画の作成など、地域と行政が連携した事前減災の効果的な取り組みについて考えます。

日時 10月26日(水) 13:00~18:00 (12:30開場)

10月27日(木) 9:30~12:45 (9:00開場)

場所 島原文化会館 (長崎県島原市城内一丁目1177-2)

参加費 無料

定員 自治体職員、一般の方等 200名 (どなたでも参加できます。先着順)

スケジュール 1日目 10月26日(水)

基調講演Ⅰ 13:15~14:00

「火山噴火の特徴と噴火予知の
現状を踏まえた火山防災の課題」

清水 洋 九州大学名誉教授/
火山噴火予知連絡会会長



基調講演Ⅱ 14:00~14:45

「地域防災・減災の新展開
—まちづくりに防災・減災を織り込む」

室崎 益輝 神戸大学名誉教授/
兵庫県立大学名誉教授



基調報告 15:00~15:45

「雲仙普賢岳噴火災害の教訓と
地域防災力の向上」

古川 隆三郎 島原市長



現地視察 15:45~18:00

雲仙普賢岳定点、
雲仙岳災害記念館(がまだすドーム)等 [予定]

2日目 10月27日(木)

特別報告 9:30~10:00

「国の火山防災対策の動向等について」

朝田 将 内閣府政策統括官(防災担当)付参事官

パネルディスカッション 10:00~12:00

「地域コミュニティにおける災害対応力の強化」

座長：瀧本 浩一 山口大学大学院創成科学研究科准教授/消防庁消防大学校客員教授

報告：①「災害対応ガバナンスと地域防災力強化への取組
～長野県庁における災害への備えと対応の10年～」

柏原 稔 長野県 危機管理防災課 火山防災幹

②「鹿児島市の災害対応と地域防災力の強化

～桜島大規模噴火に備えて～」

中島 智広 鹿児島市 危機管理課長

③「住民主体の自主防災の取り組み」

蔭原 政徳 松山市高浜地区自主防災連合会 会長/高浜公民館 館長

④「地区防災活動の必要性」

旭 芳郎 特定非営利活動法人日本防災士会長崎県支部 支部長

総括討議 12:00~12:45

五百旗頭 真 [ひょうご震災記念21世紀研究機構理事]

室崎 益輝 [神戸大学名誉教授、兵庫県立大学名誉教授]

瀧本 浩一 パネルディスカッション座長

主催：自治体災害対策全国会議実行委員会 (大規模被災地自治体、今後の巨大災害に備える全国25自治体で構成。委員長：斎藤 元彦・兵庫県知事)

■共催：島原市、(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター、読売新聞社

■後援：全国知事会、全国市長会、全国町村会、指定都市市長会、内閣府政策統括官(防災担当)、消防庁、長崎県、兵庫県、関西広域連合(予定)

会場案内 島原文化会館 (長崎県島原市城内一丁目1177-2)



【アクセス】

〈鉄道〉

島原鉄道 島原駅より徒歩 10分

〈バス〉

大手バス停より徒歩 10分

※両日とも、講演開始の約2時間前からJR諫早駅前～島原文化会館までシャトルバスの運行を予定しています。詳細は、開催日前にひょうご震災記念21世紀研究機構のホームページ <https://www.hemri21.jp/> に掲載する予定です。

※乗車人数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関でのご来場をお願いします。

お申込方法 10月14日(金)までにFAXまたはE-mailでお申し込みください。

●FAXの場合：本チラシに必要事項を記入のうえ、お送りください。

●E-mailの場合：「第11回自治体災害対策全国会議申込」と記載のうえ、

①名前・ふりがな、②所属団体・役職、③参加日(両日とも・1日目のみ・2日目のみ)、

④現地視察(1日目15:45～18:00)の参加の有無、

⑤連絡先(郵便番号・住所・TEL/FAX・E-mail)を明記のうえ、お送りください。

※期日までに定員に達した場合は、(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構のホームページ <https://www.hemri21.jp/> において告知します。

【送付先】 FAX : **078-262-5122** E-mail : zenkoku@dri.ne.jp

ふりがな 名前	所属団体・役職	参加日 (※該当に○)	現地視察 1日目 (※該当に○)	連絡先
		・両日とも ・1日目のみ ・2日目のみ	・参加 ・不参加	〒 住所 TEL/FAX : E-mail :
		・両日とも ・1日目のみ ・2日目のみ	・参加 ・不参加	〒 住所 TEL/FAX : E-mail :
		・両日とも ・1日目のみ ・2日目のみ	・参加 ・不参加	〒 住所 TEL/FAX : E-mail :
		・両日とも ・1日目のみ ・2日目のみ	・参加 ・不参加	〒 住所 TEL/FAX : E-mail :

注1) 現地視察については、申込者多数の場合、バスの乗車定員の都合により、ご参加いただけない場合があります。

注2) ご記入いただいた個人情報は、(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構で適切に管理するとともに、当機構の活動に関してのみ使用します。

〈自治体災害対策全国会議実行委員会事務局〉

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター (月～金 9:00～17:45)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番2号 人と防災未来センター東館6F

電話番号 078-262-5713 E-mail : zenkoku@dri.ne.jp URL : <https://www.hemri21.jp/>